

2025年1月29日
電源開発株式会社
飯野海運株式会社
Norsepower Oy Ltd.

燃料輸送船「YODOHIME」に ローターセイル（風力推進補助装置）の搭載を完了しました

電源開発株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等、以下「Jパワー」）と飯野海運株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員：大谷 祐介、以下「飯野海運」）は、燃料輸送船「YODOHIME（よどひめ、2016年2月竣工、以下「本船」）」に Norsepower Oy Ltd.（本社：フィンランド・ヘルシンキ、CEO：Heikki Pöntynen、以下「ノースパワー社」）製のローターセイル（風力推進補助装置）を搭載することを決定しましたが、2024年12月に搭載工事を実施し、1月に搭載後初めての航海を無事完了したことをお知らせします。

参考（過去プレスリリース・2023年7月6日）

「石炭専用船向け世界初 風力推進補助装置ローターセイルの搭載を決定しました」

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2023/07/news230706.html

今回本船の船首楼に搭載されたローターセイル（高さ24m×直径4m）は、最新のAI技術を採用し、センサーで検知した風向・風速等の気象情報を用いて円筒帆の回転方向および回転数を自動制御しています。その円筒帆の回転によるマグヌス効果によって推進力を生み、航海最適化システムとの併用により、約6～10%の燃料消費量およびCO₂排出量の削減が見込まれています。



ローターセイルを搭載した本船

Jパワーとして燃料輸送船への風力推進補助装置の搭載完了は1例目であり、今後も2021年2月に [J-POWER “BLUE MISSION 2050”](#) で掲げたカーボンニュートラルの実現に挑戦していきます。

飯野海運としてノースパワー社製ローターセイルの搭載は大型ガス船（VLGC）に続く2例目であり、中期経営計画「[The Adventure to Our Sustainable Future](#)」においてテーマに掲げるカーボンニュートラルへの挑戦に向けて、今後もクリーンな海上輸送サービスの提供に向けた取組みを積極的に進めていきます。

【各社情報】

Jパワー ※ HP : <https://www.jpower.co.jp/>

Jパワーは 1952 年創業の日本に本社を置く電力会社です。Jパワーグループは、人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献することをミッションとし、これまで水力、火力、風力、地熱、太陽光による発電および送変電事業に国内外で取り組んできました。

このミッションの達成のために、2021 年 2 月に [J-POWER “BLUE MISSION 2050”](#) を発表し、2050 年に向けて発電事業のカーボンニュートラルの実現に挑んでいます。

CO₂フリー電源の開発加速化や既存火力発電所のアップサイクル、CO₂フリー水素の発電・製造・供給に向けた取組み等を推進し、2025 年度の CO₂排出量を 920 万 t 削減※、2030 年 2,250 万 t 削減※、2050 年実質ゼロとする目標を掲げています。

※いずれも 2013 年度比、Jパワー国内発電事業

飯野海運 ※ HP : <https://www.iino.co.jp/kaiun/index.html>

飯野海運は 1899 年に創業し、東京を本社として外航海運業・内航海運業・不動産業を展開しています。外航海運業では、原油、LNG、LPG、石油化学製品、乾貨物などのエネルギー資源およびその関連製品の輸送に特化した船主およびオペレーターとして、全世界で輸送サービスを展開しており、2024 年 12 月末時点で VLCC4 隻、ケミカルタンカー34 隻、ドライバルク船 23 隻、大型ガス船 8 隻、中小型ガス船 25 隻の合計 94 隻を保有・運航しています。

飯野海運グループは、2023 年 5 月に中期経営計画「[The Adventure to Our Sustainable Future](#)」を策定し、気候変動を始めとするサステナビリティへの取り組みを強化しています。海運業においては、2030 年までにトンマイル当たりの温室効果ガス排出量を 2020 年度比で 20%削減、不動産業においては、温室効果ガスの排出総量を 2013 年度比で 75%削減、2050 年まで全社でカーボンニュートラル達成の目標を掲げ、革新的な技術への投資を積極的に進めています。

ノースパワー社 ※ HP : www.norsepower.com

ノースパワー社は、大型船向け機械式円筒帆の世界的なマーケットリーダーであり、現存する 30,000 隻以上の船の脱炭素化を支援できる可能性を秘めています。ノースパワー社製ローターセイル(Norsepower Rotor Sail™)は 10 年以上にわたって顧客に使用されており、風の力を利用することで燃料消費量と CO₂排出量を 5~25%以上削減することができます。

2012 年の設立以来、ノースパワー社は 5,000 万ユーロ以上の資金を調達し、これまでに 17 隻の船に 30 基の Norsepower Rotor Sails™を設置しました。今後 18 か月以内に 15 隻の船に 42 基の設置が予定されています。Norsepower Rotor Sail の 100,000 時間以上の性能データは、ABB、NAPA、RISE、Lloyd’ s Register などの独立した第三者検証機関により検証されています。

以 上